



吉高ニュース

岐阜県立吉城高等学校 渉外部

令和5年 11月号

さわやかな秋晴れのもと、秋の球技大会が開催されました！ 10月17日



秋の大会は卓球・サッカー・フットサル・バレーボール・バスケットボールの5競技で行われました。選手宣誓、準備運動を行った後、生徒たちは全力で競技に臨み、学校全体にクラスを応援する声が響き渡りました。各クラスの絆も深まったと思います。



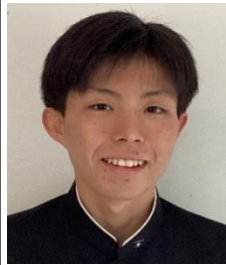
総合順位は1位：3C 2位：3A 3位：3D となり、3年生が有終の美を飾る結果となりました



飛騨地区秋季弓道大会 男子（個人）優勝

1年普通科 櫻井海帆

（東山中出身）



練習の時から1本1本に集中して引き、外したらなぜ外れたのかを考えたり、チームメイトと互いに射型を見直したり日々頑張ってきました。その積み重ねがあって

秋季大会に優勝することが出来たと思います。これからも手を抜かず、仲間たちと切磋琢磨して次の大会も良い成績を残せるようにしたいです。

令和5年度 後期生徒会役員紹介

現在生徒会では吉高オリジナルポロシャツ着用の実現のためポロシャツ作成委員会の人達と共に活動しています。

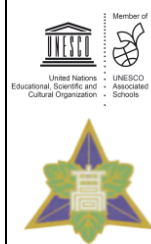
また、来年度の柏葉祭を盛り上げるために今年度のうちから準備をしようと考えています。

副会長 2年理数科 丸山一葉（古川中）
書記 2年普通科 実森芽生（中山中）
会計 1年理数科 野首こころ（日枝中）
体育委員長 2年普通科 甲谷純希（神岡中）

会長 2年理数科 荒井一花（古川中出身）



書記 1年普通科 岩佐乃愛（古川中）
会計 1年理数科 野中優月（古川中）
文化委員長 2年理数科 倉家るみ（古川中）
ポロシャツ作成委員 2年普通科 栃本望嘉（久々野中）



地域課題解決型キャリア教育「吉高地域キラメキプロジェクト」

YCK PROJECT REPORT

第6号

地域をフィールドに多様な人とのつながりが価値ある学びをつくる

YCKプロジェクト 課外活動プログラム「②市長による夏の特別補習」を実施しました！

「市長による夏の特別補習」

- ◆日 時：令和5年7月26日（水）
- ◆場 所：吉城高校 会議室
- ◆講 師：飛騨市長 都竹 淳也 様
- ◆参加者：1年生（4名） 2年生（11名） 3年生（5名）



自分たちが暮らす飛騨市の課題を

どのように考え、解決するのか、一人一人が“飛騨市長になって”考えた。



「地域課題の解決法を考える～飛騨市の現状と課題から～」と題した特別講座を、飛騨市長が務めるプログラムで、今回が5回目です。グループで話し合う時間を多く設けることで、生徒がじっくり考えながら進めていただきました。

第1部では、毎日の生活で感じている、困りごとや不便さ、改善してほしいと思うことについて、意見を書き出し、グループで話し合いました。また、生徒たちから出た飛騨市の課題は、実際のところ人口減少の問題と直結していることを教えていただき、より深く考えることができました。

第2部では、現実的に市内で起こっている問題（下記①・②）に対して、“もし自分が市長だったら”という視点で、現状をどのように打破していくかということを、グループで話し合いました。

検討課題① 介護施設において、夜勤をする職員が不足している。

このままでは、高齢者の受け入れが困難になるという現状をどのように解決するか？

検討課題② 飛騨市民病院において、常勤医師が5人以上不足している。

高度医療が経験できず、へき地・山間地で不便なため若い医師が集まらないという現状をどのように解決するか？

生徒のアイデアの中には、実際に市役所で取り組まれているものもあり、市長さんも驚くようなアイデアもあり、「市役所で行われている議論と変わらないくらいよく考えられている」との評価をいただきました。また、受講者の中には看護や医療系の進路を考えている生徒も多く、自分の進路を模索するうえでも、有意義な時間となりました。

この講座の成果を、本校での地域連携活動や課題探究活動につなげていきたいです。
都竹市長様、本当にありがとうございました。



生徒のワークシートから、感想・ふりかえりの一部を抜粋しました。

地域の課題に対して、現実を見つめる姿勢を大切にしたい！

1年女子

・参加してみて、課題の見つけ方や調べ方がよく理解できました。また、市長が私たちのことをすごく考えてくれているということが知れてよかったです。医療での課題について考えたことを、今後の進路学習や ESD で活かしていこうと思いました。

2年女子

・田舎だから人が減っていきやすく、色々な生きづらさが発生していく中で市役所の方々は問題の解決に取り組んでいるというありがたみを感じました。YCKなどのボランティアを学校でやっているの、私の手の届く範囲で地域の問題に関わっていきたいです。

3年女子

・「課題＝理想－現実」の考え方は日常生活の様々な場面で活用できるので、使っていきたいです。そして、自分たちが考える問題は割と行き着く先が同じだったり、解決策はもう実施されていたり、共通の考えが見つかったこともまた面白みがありました。

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナシップで目標を達成しよう



ご意見・ご感想などは、吉城高校・キャリア推進部までお寄せください。

☎ 0577-73-4555